

平成29年10月17日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題	うつくしい、おいしい、じゅうしい。 益田アールスメロンの秋作出荷が始まりました！
-----	---

(ダイジェスト)

益田メロン部会の秋作アールスメロンが10月9日に初出荷を迎えました。
平成29年産秋作アールスメロンは、栽培面積約4.7haで栽培されています。
今年は出荷量16,500ケース、販売金額6千2百万円達成を目指します。

今年の益田メロン部会の秋作アールスメロンは、栽培面積約4.7ha（前年対比107%）、41名（前年対比102.5%）で栽培されています。JAしまね西いわみ地区本部では出荷量16,500ケース、販売金額6千2百万円を目標に設定し、県内や大阪、広島市場へ出荷されます。初出荷は12戸約950ケースとなり、10月中旬にピークを迎え、11月上旬まで出荷が行われる予定です。

また、秋作アールス初出荷に合わせてJAの事業を活用して「益田アールスメロン」のポスター、のぼり等を作成し、9月29日に開催された出荷協議会でお披露目されました。「益田アールスメロン」は「益田アムスメロン」のロゴマークの縁取りのみ配色されており、アールスの網目を印象付けています。また、キャッチコピーを『うつくしい、おいしい、じゅうしい。』とし、アールスメロンの特徴をしっかりとPRしています。

普及部としては、今後もメロン部会、JAしまね、益田市等と連携し、担い手の確保、栽培面積の維持・確保に向けて取り組んでいきたいと考えています。



【素敵なポスター完成です！】



【ロゴマーク】



【のぼり】